



**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		現 在		将 来				
			変換・処理方法	利用率 (%)	変換・処理方法	仕向量		利用率 (%)	
	湿潤量	炭素換算量				湿潤量	炭素換算量		
<b>(廃棄物系バイオマス)</b>	<b>2,640.0</b>	<b>190.77</b>		<b>87.2%</b>		<b>2,539.3</b>	<b>186.01</b>	<b>97.5%</b>	
生活系	生活系生ごみ		焼却 一部たい肥化	4.6%	たい肥化	4.6	0.20	4.6%	
	事業系生ごみ	99.3							4.39
	生活系廃食用油	0.2	0.13	焼却	0.0%	BDF化	0.2	0.13	100.0%
	事業系廃食用油	—	—	—	—	—	—	—	—
	下水汚泥	106.0	10.17	焼却	0.0%	たい肥化・メタン発酵・ 家庭園芸利用	100.0	9.60	94.4%
畜産系	乳牛排せつ物	473.0	28.22	たい肥化	100.0%	たい肥化・メタン発酵	473.0	28.22	100.0%
	肉牛排せつ物	1,772.50	105.77	たい肥化	100.0%	たい肥化・メタン発酵	1,772.5	105.77	100.0%
木質系	製材残材(チップ)	114.0	25.39	燃料(チップ化)	100.0%	ペレット燃料化	114.0	25.39	100.0%
	製材残材(樹皮)	45.0	10.02	焼却	0.0%	ペレット燃料化	45.0	10.02	100.0%
	製材残材(おがくず)	30.0	6.68	敷きわら代替品	100.0%	敷きわら代替品	30.0	6.68	100.0%
<b>(未利用バイオマス)</b>	<b>4,641.4</b>	<b>736.59</b>		<b>35.4%</b>		<b>2,409.0</b>	<b>420.99</b>	<b>57.2%</b>	
木質系	林地残材(沿道部のみ)	250.0	55.69	放置	0.0%	ペレット燃料化・バイオガス発 電・エタノール化・メタノール化	150.0	33.41	60.0%
	剪定枝	40.0	8.91	放置	0.0%	ペレット燃料化・バイオガス発 電・エタノール化・メタノール化	40.0	8.91	100.0%
	竹類(沿道部のみ)	1,519.0	271.23	放置	0.0%	成分抽出・住宅用建 材・畜産用飼料化	300.0	53.57	19.8%
	河川清掃(葦)	229.6	18.78	放置	0.0%	たい肥化・ ペレット燃料化	100.0	8.18	43.6%
農業系	稲わら	672.2	192.45	敷きわら代替品・ たい肥化	100.0%	敷きわら代替品・たい肥 化・畜産用飼料化等	672.2	192.45	100.0%
	もみがら	145.3	41.60	敷きわら代替品・ たい肥化	100.0%	敷きわら代替品・たい肥 化・畜産用飼料化等	145.3	41.60	100.0%
	ゆず搾りかす	600.0	49.08	食品加工	5.0%	たい肥化・ ペレット燃料化	500.0	40.90	83.3%
	野菜等非食部	1,182.3	96.71	たい肥化等	25.4%	たい肥化・ ペレット燃料化	500.0	40.90	42.3%
	菜種油 (耕作放棄地 での菜の花栽培)	3.0	2.14	—	0.0%	BDF化	1.5	1.07	50.0%

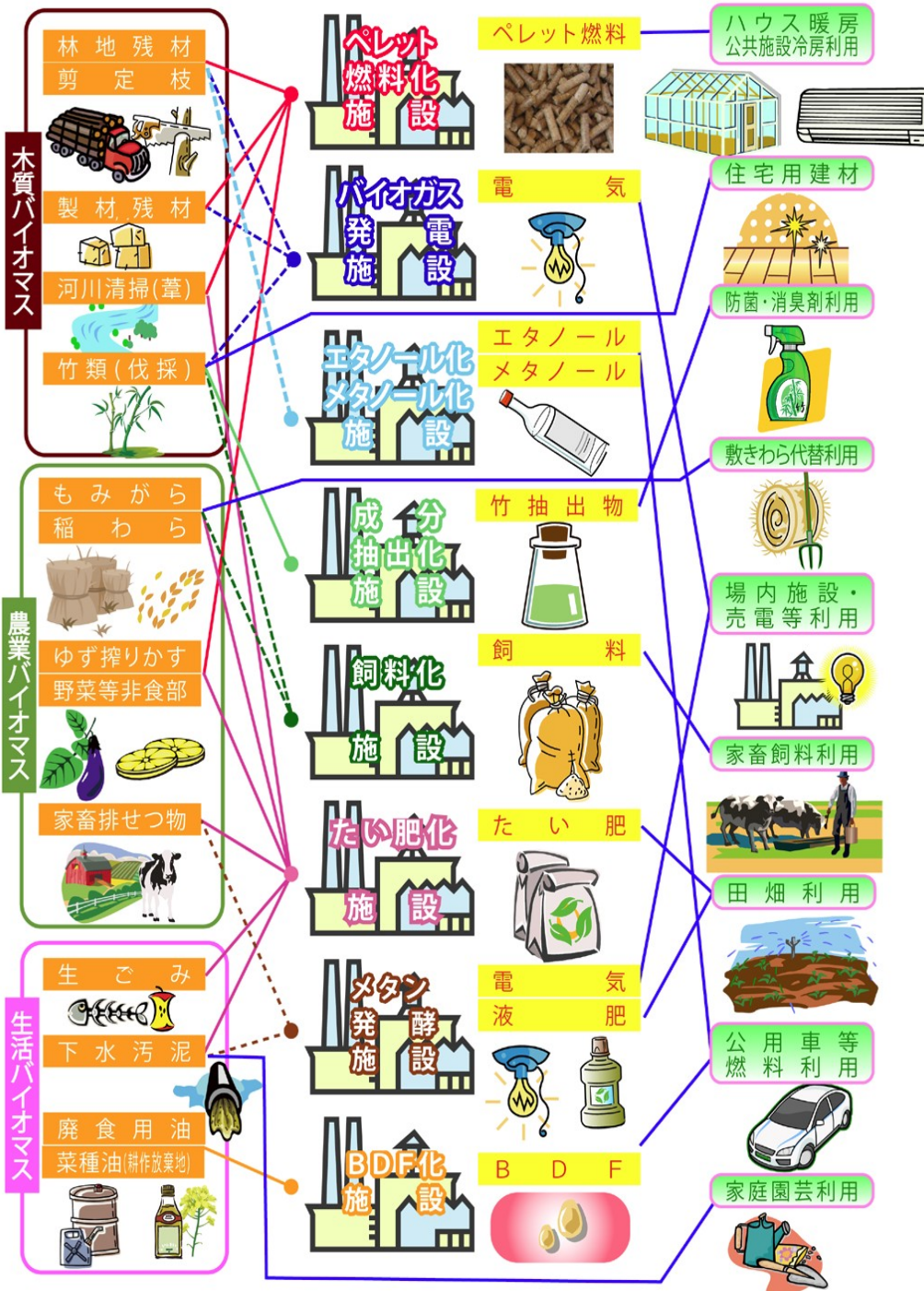
# バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)

## 【安田町バイオスタウン構想】

### 【期待される効果】

- ① 新たな地域産業・雇用の創出
- ② 地球温暖化防止への寄与
- ③ 循環型農業の転換とブランド化
- ④ 住民参加による地域の活性化と環境学習への寄与



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)